

統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター

第6回 生物統計ネットワークシンポジウム

日時：平成27年3月19日（木）10:00～17:30（開場 9:30）

会場：一橋大学 一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 2階

会場案内：http://www.hit-u.ac.jp/hall/file/menu-016/file_01.pdf

10:00-10:10 開会の挨拶

逸見 昌之（統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター）

第1部：Pharmaceutical Statistics の最前線：2014 ASA Biopharmaceutical Section FDA-Industry Statistics Workshop からの話題提供（10:10-11:50）

オーガナイザー，座長：松井 茂之（名古屋大学），手良向 聡（京都府立医科大学）

- Seamless adaptive designs：成功例より学ぶ
松井 茂之（名古屋大学大学院 医学系研究科）
- 革新的治療の迅速審査の概要，及びアダプティブ・デザインの性能評価における統計的課題など
長谷川 貴大（塩野義製薬株式会社）
- がん臨床試験の最新の動向と関連する統計的方法論
平川 晃弘（名古屋大学 医学部附属病院）

11:50-13:30 昼食

第2部：疫学と生物統計学の接点：更なる交流・連携に向けて（13:30-17:20）

オーガナイザー，座長：松尾 恵太郎（九州大学），高橋 邦彦（名古屋大学）

- 前向きコホート研究における生体試料を用いた疾患リスク予測モデル構築の取り組み
岩崎 基（国立がん研究センター がん予防・検診研究センター）
- レセプト情報等を用いた精神疾患の臨床疫学研究：生物統計学者に頼りたかった諸問題
奥村 泰之（医療経済研究機構 研究部）
- 社会疫学における因果推論：ライフコース・多重レベルにわたる因果の綾への挑戦
近藤 尚己（東京大学大学院 医学系研究科）
- 大規模環境疫学調査における生物統計担当の役割
竹内 文乃（慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室）

15:15-15:40 休憩

- がん登録資料を用いたがん患者の生存解析：疫学・統計・臨床的観点からのアプローチ
伊藤 ゆり（大阪府立成人病センター がん予防情報センター 疫学予防課）
- 薬剤疫学分野における研究デザインと交絡調整～特にプロペンシティスコアについて
漆原 尚巳（慶應義塾大学 薬学部 医薬品開発規制科学講座）
- 医学教育における疫学と生物統計学の接点
伊藤 陽一（北海道大学大学院 医学研究科 医学統計学分野）
- 疫学・生物統計学、協働か分業か？～循環器疫学、臨床家との共同研究を例にして～
村上 義孝（東邦大学 医学部 社会医学講座医療統計学分野）

17:20-17:30 **閉会の挨拶**

山下 智志（統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター）



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
統計数理研究所
The Institute of Statistical Mathematics

リスク解析戦略研究センター
〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3
TEL: 050-5533-8595 FAX: 042-526-4342
E-mail: biostat@ism.ac.jp
HP: <http://www.ism.ac.jp/risk/>